

2016年3月期 期末決算の概要

2016年4月27日



JFE 商事 株式会社

【2016年3月期 決算の概要】

1. 2016年3月期連結決算のポイント
2. 連結損益計算書
3. 連結貸借対照表(要約)
4. 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)
5. 《参考》売上高・経常利益推移(連結)

2016年度3月期 期末決算の概要

1. JFE商事(株) 2016年3月期 連結決算のポイント

◆売上高

国内外において鉄鋼製品の販売価格が下落、それに伴う買い控えや在庫調整の遅れにより販売数量も減少したことから、前期比▲1,780億円減収の1兆7,564億円。

◆経常利益

国内外において想定以上に鉄鋼製品の価格が下落したことに加えて、元安に伴う中国グループ会社における外貨建て負債評価損や北米内グループ会社の在庫評価損等の評価性の損失が発生したことにより前期比▲89億円減益の157億円。

◆親会社帰属当期純利益

経常利益は減益したものの、豪州の一部石炭炭鉱プロジェクトからの撤退に伴い、前期第1四半期に特別損失を計上していたことから、前期比11億円増益の75億円。

2. 連結損益計算書

(億円)

	第3Q累計 (4-12月)	第4Q (1-3月)	当期	前期	増減(当期-前期)	
						増減率
売上高	13,303	4,261	17,564	19,344	① ▲1,780	▲9%
売上総利益	610	164	774	906	② ▲132	▲15%
(利益率)	(4.6%)	(3.8%)	(4.4%)	(4.7%)	-(0.3%)	
販管費	466	158	624	553	③ 71	13%
営業利益	144	6	150	353	▲203	▲58%
営業外損益	1	6	7	▲107	④ 114	
経常利益	145	12	157	246	▲89	▲36%
特別損益	▲6	▲17	▲23	▲89	⑤ 66	
税引前 当期純利益	139	▲5	134	157	▲23	▲15%
親会社帰属 当期純利益	91	▲16	75	64	11	17%

①②売上高・売上総利益の主な内訳

JFE商事(単体)	▲1,746	▲21
国内子会社	▲445	▲3
海外子会社	▲34	+16

③販売費及び一般管理費

一般経費の増 他

④営業外損益

為替差 他

⑤特別損益

前期の減損損失影響 他

3. 連結貸借対照表要約

(億円)

	当期末	前期末	増減
総資産	6,197	7,017	① ▲ 820
総負債	4,563	5,345	② ▲ 782
純資産	1,634	1,672	③ ▲ 38
有利子負債	1,341	1,573	▲ 232
有利子負債倍率 (DER)	0.85倍	0.98倍	▲ 0.13倍
自己資本比率	25.3%	23%	2.3%

① 総資産

前期末比820億円減の6,197億円

売上債権	▲548	
棚卸資産	▲32	
投資有価証券	▲88	他

② 総負債

前期末比782億円減の4,563億円

仕入債務	▲522	
有利子負債減	▲232	他

③ 純資産

《 ▲38億円減の内訳 》

～増加～ 当期純利益 +75億円

～減少～ 配当 ▲16億円
評価換算等 ▲97億円 他

※有利子負債倍率 (DER)

= 有利子負債 ÷ (純資産 - 非支配株主持分)

※自己資本比率

= (純資産 - 非支配株主持分) ÷ 総資産

4. 連結キャッシュ・フロー計算書要約

(億円)

	当 期
営業活動によるCF	281
投資活動によるCF	▲ 115
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	166
財務活動によるCF	▲ 233
現金同等物の換算差額	▲ 8
現金及び現金同等物の増減	▲ 75
現金及び現金同等物 (期首)	251
現金及び現金同等物 (期末)	176

●営業活動によるCF

経常利益	+ 157	
減価償却	+ 77	
営業立替の減	+ 66	
法人税等の支払	▲ 72	他

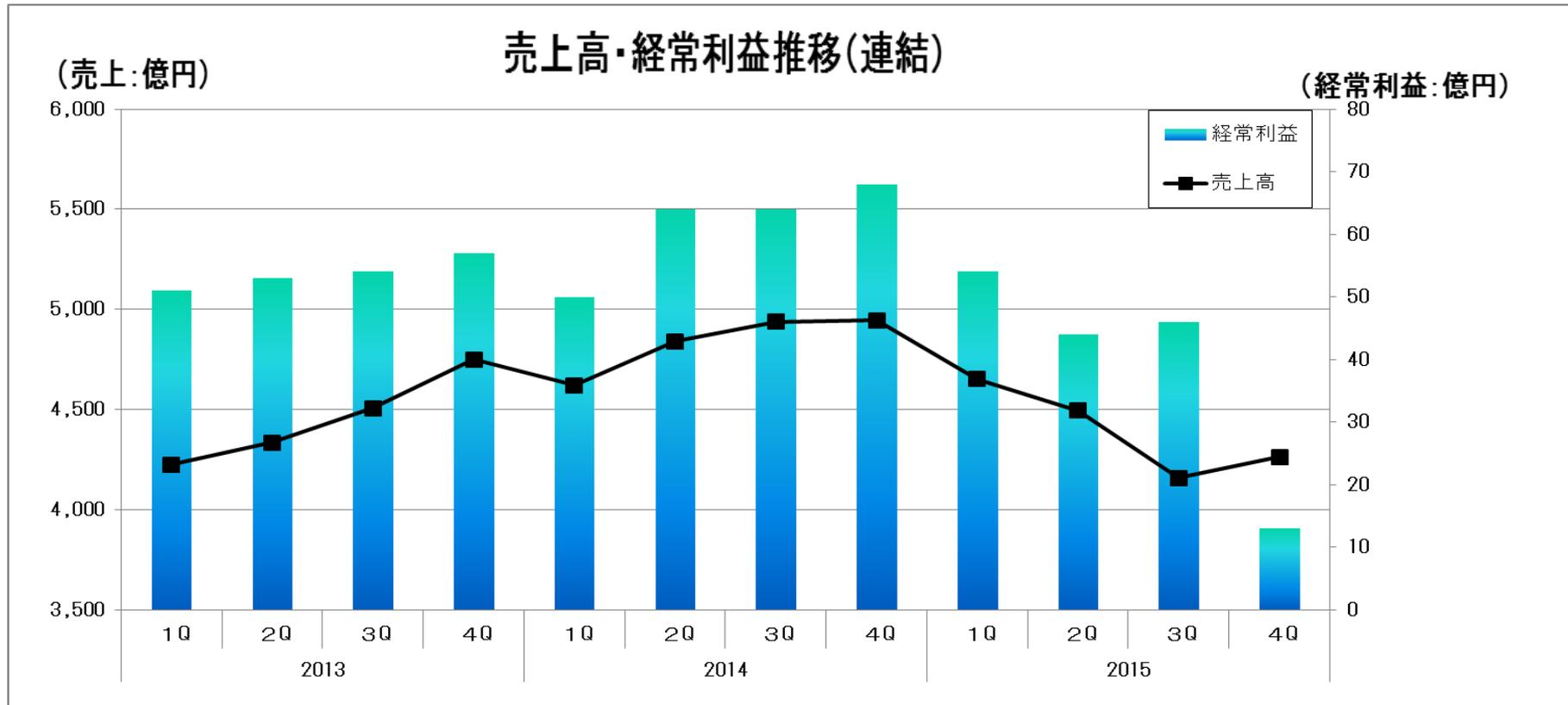
●投資活動によるCF

固定資産の取得・売却	▲ 40	
株式の取得・売却	+ 9	他

●財務活動によるCF

借入金等の増減	▲ 212	
配当金の支払	▲ 16	他

5. 売上高・経常利益推移（連結）



(億円)

	2013年度				2014年度				2015年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	4,224	4,334	4,506	4,749	4,621	4,841	4,937	4,945	4,651	4,494	4,157	4,262
経常利益	51	53	54	57	50	64	64	68	54	44	46	13



JFE

*本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって見通しと異なる場合があります。